

第1章 人口

1 神奈川県的人口

(1) 総人口

総務省統計局「令和2年国勢調査」によると、本県の総人口は923万7千人で男が458万8千人、女が464万9千人で、女が61千人多くなっている(表1)。

(2) 年齢別人口

0～14歳人口(年少人口)は108万6千人(総人口の11.8%)、15～64歳人口(生産年齢人口)は579万2千人(62.7%)、65歳以上人口(老年人口)は236万1千人(25.6%)となっている(表1)。

表1 総人口の構成

	2020年10月 (構成比)		(単位：千人、%)	
			対前年増減数(率)	
総人口	9,237	(100.0)	39	(0.42)
男	4,588	(49.7)	3	(0.07)
女	4,649	(50.3)	36	(0.78)
0～14歳人口	1,086	(11.8)	-	-
15～64歳人口	5,792	(62.7)	-	-
65歳以上人口	2,361	(25.6)	-	-

資料：総務省統計局「令和2年国勢調査」

注) 国勢調査結果は年齢別人口に年齢不詳部分を含まないため、この表の総人口と年齢別の人口の計は一致しない。また、令和元年は総務省の推計人口を使用しているが、推計人口には年齢不詳分はないことから年齢別の対前年比較に適するデータは得られないため、年齢別の対前年増減数(率)は標記していない。

2 市区町村の人口

(1) 市区町村別人口

30万人以上は、藤沢市、横須賀市、横浜市港北区及び青葉区の2市2区、20万人台が18市区、10万人台が18市区、5万人から10万人未満が2市、1万人から5万人未満が12市町、1万人未満が4町村となっている(表2)。

(2) 年齢別人口

0～14歳人口の割合は横浜市都筑区が最高で箱根町が最低、15～64歳人口の割合は川崎市中原区が最高で湯河原町が最低、65歳以上人口の割合は湯河原町が最高で川崎市中原区が最低となっている(表3)。

昨年と同様、今年も全市区町村で65歳以上人口が0～14歳人口を上回った。

表2 市区町村別人口

(令和2年1月1日現在)

(単位：人)

	市区町村	人口
1	藤沢市	434,769
2	横須賀市	393,025
3	横浜市港北区	353,620
4	横浜市青葉区	310,387
	神奈川県	9,201,825

資料：神奈川県統計センター

「神奈川県年齢別人口統計調査」

表3 市区町村、年齢3区分別人口の割合

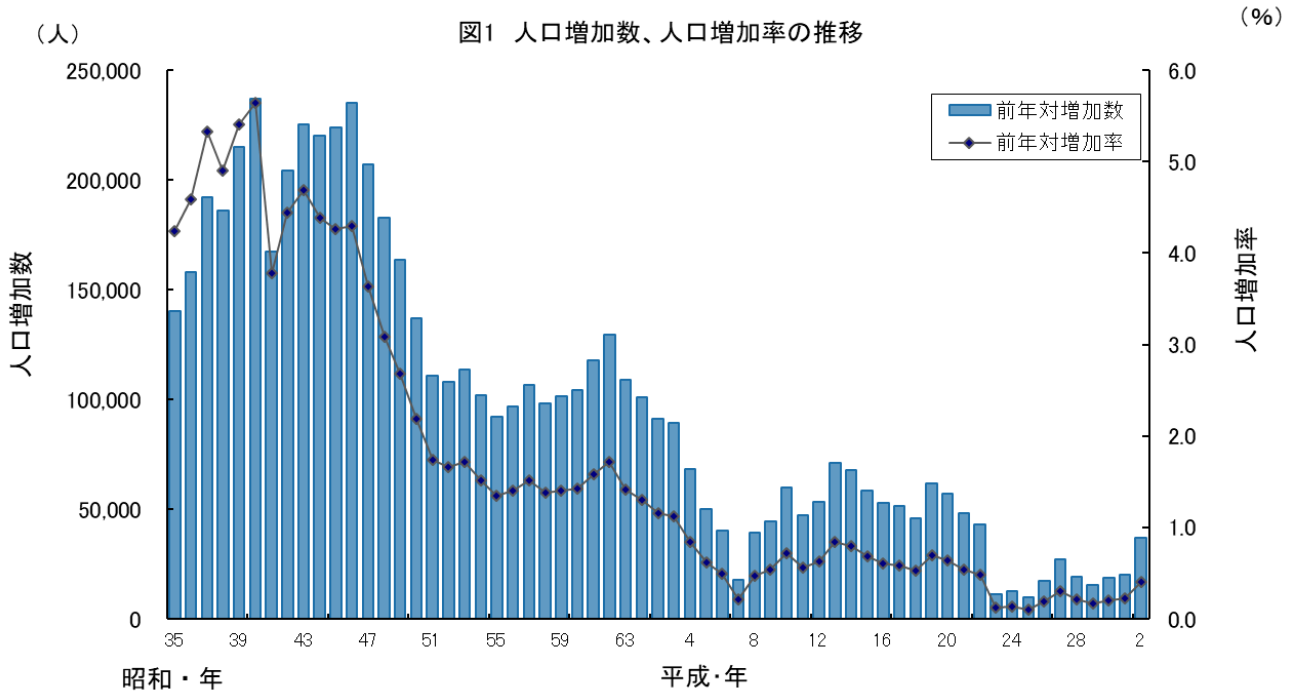
(令和2年1月1日現在)

(単位：%)

順位	0～14歳		順位	15～64歳		順位	65歳以上	
	市区町村	人口の割合		市区町村	人口の割合		市区町村	人口の割合
1	横浜市都筑区	15.2	1	川崎市中原区	70.8	1	湯河原町	42.6
2	開成町	14.9	2	横浜市西区	68.9	2	真鶴町	42.5
3	藤沢市	13.1	3	川崎市多摩区	68.6	3	三浦市	40.1
4	綾瀬市	13.1	4	川崎市高津区	67.5	4	山北町	39.6
5	海老名市	13.1	5	横浜市港北区	67.5	5	清川村	37.1
・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・
54	山北町	8.7	54	大磯町	52.9	54	川崎市多摩区	19.4
55	三浦市	8.5	55	山北町	51.7	55	横浜市西区	19.1
56	湯河原町	7.7	56	三浦市	51.4	56	川崎市高津区	18.5
57	真鶴町	6.9	57	真鶴町	50.6	57	横浜市都筑区	18.1
58	箱根町	6.2	58	湯河原町	49.2	58	川崎市中原区	15.1
	神奈川県	11.9		神奈川県	62.1		神奈川県	25.1

注：年齢3区分構成比は、年齢不詳を除いて算出

資料：神奈川県統計センター「神奈川県年齢別人口統計調査」



注：図1 国勢調査年は国勢調査、その他の年は神奈川県人口統計調査（神奈川県統計センター）の数値

図2 神奈川県の人口ピラミッド（令和2年1月1日現在）

